

中間報告書

第73期 2023年4月1日～
2023年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、第73期の中間報告をお届けいたします。



INTERIM REPORT

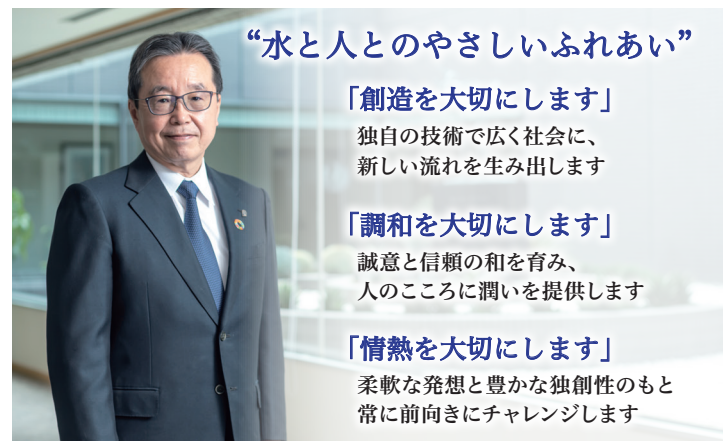
当第2四半期連結業績は売上高297億円

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢が長期化する中、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、長引く人手不足や急激な為替レートの変動などの要因により、景気の回復傾向が鈍化するなど依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、世界経済におきましても、一部地域でのインフレによる消費抑制や中国経済の景気減速など、今後も予断を許さない状況となっております。

このような状況の中で、国内におけるインフラ整備関連事業の受注拡大や海外における設備市場での活発な需要が続いた影響など、また円安による収益のかさ上げもあって、プラス成長を達成することができました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、297億19百万円（前年同期比13.9%増収）、営業利益は41億3百万円（前年同期比59.8%増益）、経常利益は69億49百万円（前年同期比37.6%増益）、親会社株主に帰属する第2四半期純利益は48億22百万円（前年同期比48.0%増益）となりました。なお、中間配当金につきましては、1株につき22円（記念配当2円含む）とさせていただきます。

中期3ヶ年経営計画「NEXT100」の最終年度として施策を確実に実行し、グローバル戦略による経営基盤の強化の取組みとして、成長著しい海外マーケットにおける当社グループの事業を強化することを目的に連結子会社である TSURUMI PUMP TAIWAN CO., LTD. を、6月に完全子会社化いたしました。マザー工場である当社の京都工場との連携をさらに促進し、生産効率の



向上とサプライチェーンの強化を図り、当社グループの長期的な成長基盤・収益基盤の拡大に結びつけ、企業価値向上の実現を図ってまいります。

今後も当社グループ製品が社会インフラに対して必要不可欠なものであるという責任を十分に踏まえた上で、万全な体制で製品を供給し続けることができるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月 代表取締役社長 辻 治

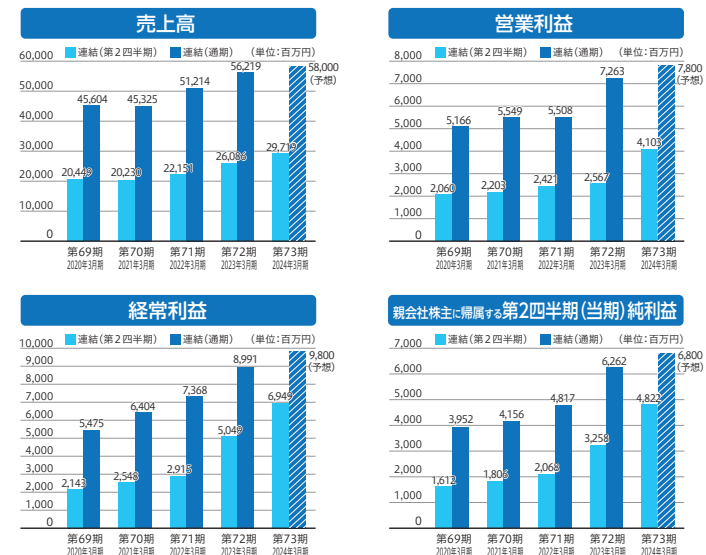
連結業績ハイライト(当第2四半期(累計))

売上高	297億円	+36億円
営業利益	41億円	+15億円
経常利益	69億円	+19億円
親会社株主に帰属する 第2四半期純利益	48億円	+15億円

※TSURUMI AUSTRALIA PTY LTD(オーストラリア)を連結の範囲に含めております。

POINT 当第2四半期決算のポイント

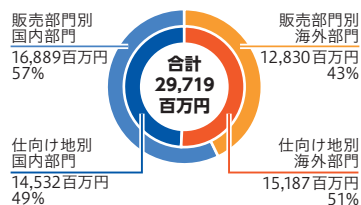
急激な円安に伴い、円換算後の外貨建ての売上・利益が
上振れした影響などにより増収増益



より詳細な決算情報は、右記のQRコードよりアクセスいただき、
当社のIRニュース一覧からご覧いただけます。



2024年3月期 第2四半期



国内部門

インフラ整備関連事業の受注拡大

海外部門

北米地域: 水処理・設備市場向けが好調

アジア地域: 引き続き香港は好調であるが、全体的には需要拡大は落ち着き

その他地域: 中国地域での設備市場の需要が堅調

国内の納入事例

浸水被害を防ぐ雨水排水ポンプ設備 スクリューポンプ AS 型

発注者: 日本下水道事業団
件名: 鳥取市吉成ポンプ場 水処理設備工事
ポンプ: φ3000スクリューポンプ ×1台



鳥取市の雨水排水施設整備事業において吉成ポンプ場にスクリューポンプ (1台) を納入いたしました。ポンプの羽根径は 3000mm、排水量は毎分 182m³となります。今回新たにポンプを納入したことで、本ポンプ場の排水能力は従来の2倍となりました。浸水被害を軽減する設備として地域に貢献してまいります。また本工事は日本下水道事業団の令和5年度優良工事として表彰されました。

吉成ポンプ場のツルミ YouTube 動画



海外の納入事例

環境負荷低減に配慮した台湾向け真空ポンプユニット 2段式真空ポンプユニット VMWP 型

【納入機器仕様】
型式: MB50VMWP418.5B
台数: 1 ユニット
吸込み口径: 300mm
吸込み圧力: 0.67 kPaA
吸込み流量: 5000 m³/h
出力: 合計 40.7kW



台湾企業におきましても近年 CSR 活動が活発的に行われており、環境はもちろん労働環境へ配慮した活動が求められています。今回化学プラントにご採用頂きました2段式真空ポンプユニット VMWP 型は、ボタン一つで起動停止ができ、プラント稼働状況に応じて自動で機器の負荷を調整できる完全自立型のパッケージとなります。(ポンプユニット内における各機器の仕様・材質など、お客様のご要望に応じて設計が可能です。)

ウェブサイト
ツルミ液封式ポンプトップページ



「持続可能な社会」に貢献するため、
当社の活動を一部ご紹介します。

ESG視点	評価指標	数値目標	SDGsへの貢献
環境	温室効果ガス ・排出量 (Scope1&2)	2014 年度比 ・50%削減 (2030 年度)	7 再生可能エネルギーを拡大する
	・排出原単位 (Scope3)	・30%削減 (2030 年度)	12 つくもの責任 つかう責任
社会	・全部門の女性 総合職の配置率	・2026年3月31日 までに配置率100%	5 ジェンダー平等を 実現しよう
	・男性育児休業 取得率	・2023 年4月1日～ 2025 年3月31日 に男性育児休業 取得率 40%以上	8 働きがいも 経済成長も
ガバナンス	・重大な コンプライアンス 違反件数	・毎年 0 件を継続	16 平和と公正を すべての人に

「一般財団法人鶴見奨学研究助成財団」を設立しました。

当社は創業以来、水を通じて社会の発展に貢献することを目指してまいりました。

創業100周年を迎えるにあたり、水との係わりを通じた社会環境の充実、或いは自然災害などからの復旧・復興や防災・減災分野に関連する新しく、独自の技術開発などに取り組んでいる研究者などを支援する「一般財団法人鶴見奨学研究助成財団」を設立いたしました。

「地球」そして「かかわるすべての人」という2つの軸を中心とした社会の課題解決に貢献し、地球規模での持続可能な社会環境の創造を目指します。

2023 年

4月 広報・IR の一元化を担う「広報・IR 課」発足

次の 100 年を見据えた京都工場新棟建設を志向する、「ものづくり革新プロジェクト」の発足

中部支店の新築移転

5月 新規開発製品「水中ノンクロック型スマッシュポンプBN 型」の建設技術審査証明書取得 [特集記事①へ](#)

多様なステークホルダーとの適切な協働を目指し「マルチステークホルダー方針」公開

6月 ツルミ 2030 グランドデザインチーム発足 [特集記事②へ](#)

「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言へ賛同表明

TSURUMI PUMP TAIWAN CO., LTD. の完全子会社化

取締役向け譲渡制限付株式報酬制度の導入

7月 プロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」スポンサー決定

京都工場新棟 (モータ生産棟) 建設工事の安全祈願祭を実施

8月 下水道分野における国内最大の展示会『下水道展'23 札幌』に出展

9月 化学産業を中心としたプロセス産業 / プラント設備 / エンジニアリングの総合展示会『INCHEM TOKYO 2023』に出展

SNS 公式アカウント

今すぐチェックしよう! / ツルミポンプ

製品情報や展示会出展のご案内、納入事例のご紹介など様々な情報を発信しています。

ぜひお友達に
なってください!

公式アカウント一覧はこちら





公益財団法人 日本下水道新技術機構より、 『建設技術審査証明書(下水道技術)』 が交付されました！

『水中ノンクロック型スマッシュポンプ』が、
吸込み部に閉塞改善機構を有する
ノンクロック型ポンプとして評価を受け、
その技術が証明されました！

(審査証明第2205号)
※1.5kWは建設技術審査証明書の対象外です。



建設技術審査証明(下水道技術)とは・・・

下水道事業における新技術の活用促進に寄与することを目的として、
公益財団法人 日本下水道新技術機構が、民間企業において研究開発された
新技術を対象に技術的な審査を行い、その性能、特徴等を客観的に証明するものです。



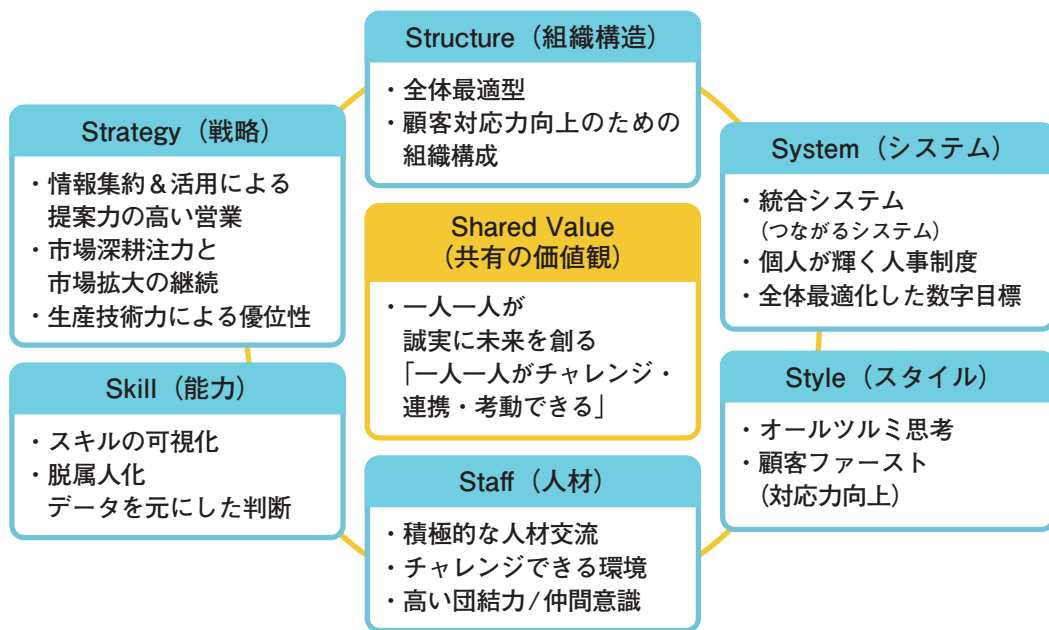
前期に販売を開始した水中ノンクロック型スマッシュポンプ BN 型が、2023 年 5 月、公益財団法人 日本下水道新技術機構の建設技術審査証明書（下水道技術）を取得しました。これを記念し、中間配当では 2 円の記念配当を実施させていただきます。

本製品は、建設技術審査証明書だけでなく、発明として特許も取得しておりますので、ご紹介します。

本製品は、汚水処理設備など、異物を含んだ汚水が流入する現場での活用を想定しています。このような現場では、異物によってポンプが閉塞し、揚水が不能となるリスクがあります。そこで、本製品では、異物を切断／破砕する機構（スマッシュ機構）を搭載することで、通過性を確保しつつ、高効率も実現しています。このようなことから、本製品は、二酸化炭素排出量削減や省エネ、維持管理の省人化など、SDGsにも貢献するものとなっております。

メーカーである当社は、研究・開発活動で生み出されたアイデアを大切に、知的財産権によって保護し活用に取り組んでおります。また、社内研修を実施し、第三者の知的財産権を尊重するなど、知的財産の保護にも取り組んでおります。

新商品の開発過程においては、事業部門・技術開発部門と知的財産部門が打ち合わせを重ねながら、他社先行技術の調査、当社技術の出願や権利化などの活動を進めております。その際には、日本のみならず、諸外国における権利化も意識したグローバルな活動を進めております。



当社が持続的な発展を目指すうえで、俯瞰的かつ長期的視点で策定された経営・組織・制度などのあるべき姿（グランドデザイン）は欠かせません。当期は新グランドデザインを策定する第一弾として、全社会議（2023 年 4 月）で管理職 158 名が参加するディスカッションを開催。当社のあるべき姿について、組織の横串を通して活発な議論が展開されました。そして寄せられた声は、社内公募で結成された若手中心の有志 12 名による活動に引き継がれております。

第二弾の活動では、合宿を含む計 15 回の討議を通じ、当社のあるべき姿の策定とあるべき姿に向けての施策を検討しました。討議では、限られた時間の中で最大限の成果を上げるためにフレームワーク「マッキンゼーの 7S」を活用。当社の目指すべき姿に向けて、Strategy(戦略)、Structure(組織構造)、System(システム)を検討。それと共に、実効性を高めるための Shared Value(共有の価値観)、Skill(能力)、Staff(人材)、Style(スタイル)をどのように変容させていくべきか、現状との GAP を踏まえた施策を打ち出しました。

第 73 期下期には各部門への提言を進め、討議結果の「中期経営計画への落とし込み」を実施してまいります。



全社会議ディスカッションの様子

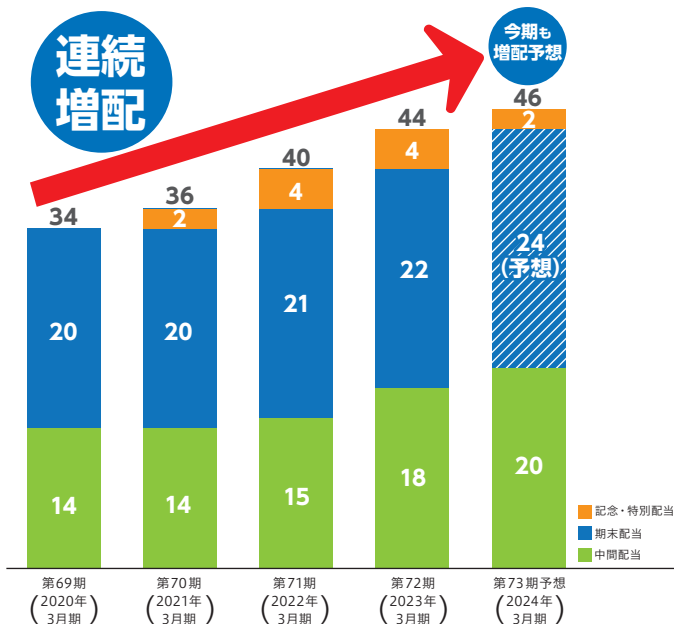


若手有志による合宿討議の様子

当社は、長期的な視野に立った積極的な事業展開に備えたキャッシュ・フローを確保しつつ、株主還元として安定配当を行うことを資本政策の基本的な考え方としております。

2024 年 3 月期の中間配当につきましては、すでにお知らせしておりますとおり普通配当の 20 円に加え、記念配当として 2 円を加算し、1 株当たり 22 円とさせていただきます。

【ご参考】1株当たりの配当金額の推移(円)



鶴見製作所は、おかげさまで

2024年1月5日に創業100周年を迎えます。



地球のために、 かかわるすべての人のために

この先また 100 年、
地球が健やかに命を育み守り続けていくために
私たち鶴見製作所は、これからも水とともに歩み続けます。

変わりゆく地球環境に対応し、
これまで培ってきた技術を磨き、新たな道を切り拓いて—
この先の未来が、うるおい豊かで快適な社会となるために、
ツルミの挑戦はこれからも続きます。

会社概要 (2023年9月30日現在)	
商 号	株式会社 鶴見製作所
大阪本店	〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 TEL: 06-6911-2351 (代)
東京本社	〒110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号 TEL: 03-3833-9765 (代)
創 業	1924 年 1 月 5 日
設 立	1948 年 2 月 12 日
資 本 金	51 億 88 百万円
代 表 者 名	代表取締役社長 辻 本 治
従 業 員	1,323 名 (グループ計) (注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

株主メモ	
事 業 年 度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 6 月開催
基 準 日	定時株主総会: 毎年 3 月 31 日 期 末 配 当 金: 毎年 3 月 31 日 中 間 配 当 金: 毎年 9 月 30 日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
単元株式数	100 株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ (電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日休日を除く)
公 告 方 法	当社のホームページに掲載します。 https://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式情報 | STOCK INFORMATION

株式の状況 (2023 年 9 月 30 日現在)

発行可能株式総数 100,000,000 株

発行済株式の総数 27,500,000 株

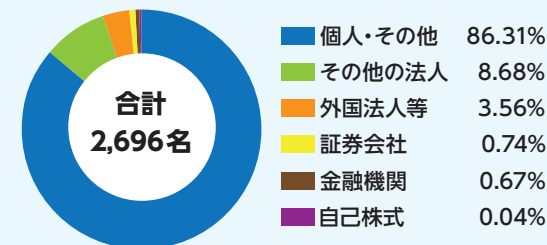
株 主 数 2,696 名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,796	7.31
株 式 会 社 T's コ ー ポ レ ー シ ョ ン	1,775	7.23
ツ ル ミ 共 栄 会	1,731	7.05
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	1,220	4.97
有 限 会 社 ツ ル ミ 興 産	894	3.64
THE BANK OF NEWYORK - JASDECTREATY ACCOUNT	822	3.35
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	700	2.85
デ ン ヨ ー 株 式 会 社	648	2.64
株 式 会 社 ダ イ コ ウ	579	2.36
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	552	2.25

(注)当社は自己株式2,936千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

